

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

海老江東小学校	学校	児童数	58
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.96	17.31	33.12	39.04	48.00	9.30	145.92	17.81	51.20
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.88	15.25	33.50	34.06	28.13	10.47	126.81	9.97	45.63
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校は、男子は8種目中2種目で全国平均を上回り、3種目で大阪市平均を上回っている。体力合計点でも大阪市平均を上回っている。課題は、上体起こしとソフトボール投げである。女子は8種目中全ての種目で大阪市平均・全国平均を下回った。課題は、特に50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げで、全国平均と比べて、約6ポイントの差がある。体力合計点では、男子で1.3ポイント、女子で8.3ポイント低くなっている。

質問紙調査では、男女とも1日の睡眠時間は9～10時間が最も多く、スマホ等の1日の視聴時間も5時間を超える児童は大阪市や全国に比べて非常に少ない。しかし「運動が好き」と回答する児童の割合は全国や大阪市に比べてやや少ない。また「体育の授業が楽しい」と回答する割合は、女子が低くなっている。さらに一週間の総運動時間が、男子が60～119分、女子が0～59分が最も多く、運動時間少ないことがうかがえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

令和4年11月からの新校舎新築工事により運動場が10m×30mの狭さとなった。そのため、体育館と併用で、体育の授業や遊放時の外遊びを学年で割り当て、運動時間の確保に努めてきた。また、それぞれの運動の特性（よさや楽しさ）に触れる体育授業の改善にも努めてきた。普段の授業では、運動時間の確保や、児童が目標を意識した学習で「できた」「わかった」を味わえるような授業改善を行ってきた。冬のなわとびによるの体力づくりやシナプソロジー（運動と脳を関連付けながらの活性化運動）の導入も積極的に行った。さらに、トップアスリート事業、夢授業などを活用し、オリンピックメダリストを招聘して、水泳や体操の出前授業も積極的に行った。しかしながら、やはり運動場が日常的に使えなかった影響は大きかったと考える。

令和7年4月からは、通常通り運動場が使えるようになり、日常的に運動する時間の増加が見込まれる。今後は、体を動かしてスッキリした気分になる体験や、友だちと交流したり協力したりする楽しさが味わえる体験ができるよう、体育の授業の工夫・改善に取り組んでいく。